

Risk Analysis Research Center Pews Letter

2021 **August** 2021年8月



CONTENS

04

- 02 1. 今月のトピックス
- 02 2. 各プロジェクトからのお知らせ
 - 金融・保険リスクの計量化と戦略的制御プロジェクト
 - データ中心リスク科学基盤整備プロジェクト
 - ■リスク基盤数理プロジェクト
 - ■環境情報に関する統計解析手法開発プロジェクト
 - ■地震予測解析プロジェクト
 - 資源管理リスク分析プロジェクト
 - 3. センター事務局からのお知らせ

1. 今月のトピックス

9月2日(木)13:00 からオンラインにて、 「リスク解析戦略研究センターシンポジウム」を 開催いたします。(要申込み・参加費無料)

https://www.ism.ac.jp/risk/risk_sympo2021.html

また同日17:00~リスク研究ネットワーク年次総会をオンラインにて開催予定です。

<特別講演>

・青嶋誠 教授(筑波大学)

「高次元小標本の統計学: 非スパース性と巨大ノイズ」

·塚原英敦 教授 (成城大学)

「多変量生存解析における接合関数アプローチ」

<チュートリアル講演>~地震学のデータサイエンス~

- ・長尾大道 准教授 (東京大学地震研究所) 「情報科学と統計科学が加速する地震データサイエンス」
- ・岩田貴樹 准教授(県立広島大学) 「統計科学の地震学への応用:地下の物理状態推定



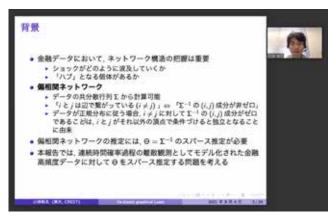
2. 各プロジェクトからのお知らせ

- ■金融・保険リスクの計量化と戦略的制御 プロジェクト
- ●8月4~5日の2日間にわたり「第8回金融シンポジウム」が開催されました。

昨年度はコロナ禍で開催を見送ったため今年度 が初のオンライン開催となりましたが、400名を 超える申込みがあり、盛会のうちに終了すること ができました。

本シンポジウムにおいては、アカデミックの講演者だけではなく金融庁や日銀などの政策当局者や民間の金融機関など金融に関わる様々な角度からの講演となり、大変有意義なシンポジウムとなりました。





第8回金融シンポジウム

(所内責任者:山下智志教授)

■ データ中心リスク科学基盤整備 プロジェクト

- ●公的統計ミクロデータ研究コンソーシアムシンポジウム 2021を11月に開催予定です。詳細が決まりましたら、順次公的ミクロ研究コンソーシアムウェブサイト(http://jmodc.org/) にてお知らせします。
- ●公的統計ミクロデータを利用した研究にご関心 のある研究者の方々に、オンラインのアンケート を実施しました。結果がまとまり次第、ウェブサ イトにて公開予定です。
- ●10月10日のデジタルの日に合わせ、公的ミクロ データについて初学者むけに分かりやすく説明し たコンテンツ制作を進めています。
- ●9月7日の統計関連学会連合大会にて、企画セッション「公的統計ミクロデータにおけるさらなる利活用をめぐって」を実施予定です。

(所内責任者:南和宏教授)

■リスク基盤数理プロジェクト

●8月16日~26日 に共同研究集会「極値理論の 工学への応用」をオンデマンド形式で開催します。 https://sites.google.com/view/takaakishimura

(所内責任者: 志村 隆彰 准教授)

● 11月15日に「確率・統計・行列ワークショップ 2021」を開催します。滋賀大学彦根キャンパスあるいは信州大学松本キャンパスにてオンサイト・オンライン併用で行います。詳細は決まり次第、メーリングリストでご案内します

(所内責任者: 栗木 哲教授)

■環境情報に対する統計解析手法開発 プロジェクト

● 9月以降に共同研究集会と国際シンポジウム等をオンライン開催で計画中です。

(所内責任者:金藤浩司 教授)

■地震予測解析プロジェクト

●地震予測解析プロジェクトでは以下の論文を掲載しました。

Jia, K., S. Zhou, J. Zhuang, C. Jiang (2021) Stress transfer along the western boundary of the Bayan Har Block on the Tibet Plateau from the 2008 to 2020 Yutian earthquake sequence in China. Geophysical Research Letters. doi:10.1029/2021GL094125

Taroni, M., J. Zhuang, W. Marzocchi (2021) High-Definition Mapping of the Gutenberg-Richter b-value and its Relevance: A Case Study in Italy. Seismological Research Letters. doi:10.1785/0220210017.

Minson, S.E., Cochran E.S., Wu S. and Noda S. (2021) A Framework for Evaluating Earthquake Early Warning for an Infrastructure Network: An Idealized Case Study of a Northern California Rail System. Frontiers in Earth Science. 9:620467. doi: 10.3389/feart.2021.620467.

https://www.frontiersin.org/articles/10.3389/feart.2021.620467/full

●6月24日に第77回統計地震学セミナー、7月27日に第78回統計地震学セミナーがオンライン にて開催されました。 ● Stephen Wu 准教授のプレスリリース「より早く正確な緊急地震速報に向けて 一複数の地震観測網を統合した計算手法を開発―」が掲載されました。

https://www.ism.ac.jp/ura/press/ISM2021-04.html

(所内責任者:庄建倉准教授)

■資源管理リスク分析プロジェクト

- ●アジアでのオンラインワークショップ企画に伴う 備品提供による支援を検討中ですが、事務ルー ル的にかなり難しい状況です。
- ●現在インドネシアでのデルタ株拡散に伴い、同地でのオンラインワークショップ開催はペンディング中、その他の地域においても同様の状況ですが、改善後の対応を検討しています。

(所内責任者: 吉本 敦 教授)

3.センター事務局からのお知らせ

7月のリスク解析戦略研究センター運営会議は休会でした。

次回の会議は 2021 年 9月 3日(金) 11:00 ~の 予定です。

2021/8/6